

臨床研究「腹膜透析患者における摂取蛋白量の残存腎機能へ与える
影響」へのご協力のお願い

腹膜透析では透析時の排液へ1日10グラム程度の蛋白質が失われるため、これを補うように蛋白質を多めにとる高蛋白食が推奨されています。しかしこれによる蛋白負荷は残り少なくなっている自らの腎機能を疲弊させてしまう可能性があります。近年、透析を始めた後も尿が出続けるよう、残されている腎機能を温存することが重要であることがわかってきました。このため、当院腎センターで加療中あるいは過去に加療されていた腹膜透析患者さんの蛋白摂取状況と腎機能の推移、栄養障害の有無などをカルテから調べさせていただこうかと考えています。新たな検査や指導、治療の必要はありません。また集団としてのデータを解析しますので個人の情報が漏えいすることはありません。しかしご自身の検査結果等が研究に使用されることを望まない場合はご遠慮なくスタッフへ申し出て下さい。

主旨をご理解の上、ご協力をお願い致します。

平成25年7月16日

JAとりで総合医療センター腎センター長

前田益孝